



今号の主な内容

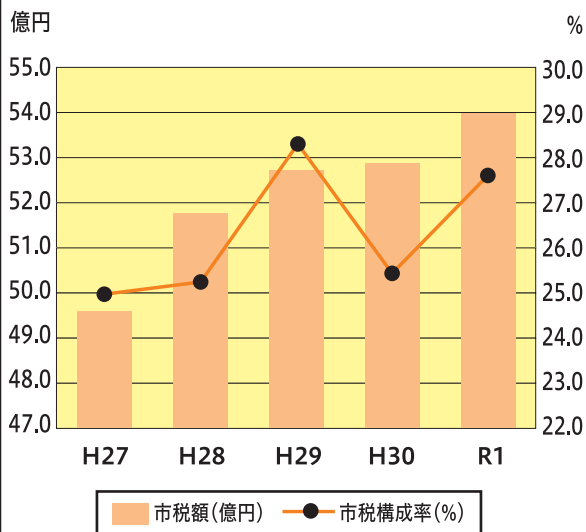
- 決算審査……………①～③
- 一般質問……………④～⑤
- 市民懇談会／提言書／産業建設常任委員会報告／常任委員会所管事務調査紹介……………⑥
- ICT会議中間報告／モニター会議／9月会議の可決議案一覧等……………⑦～⑧

令和2年11月15日

令和元年度歳入・歳出決算を認定!

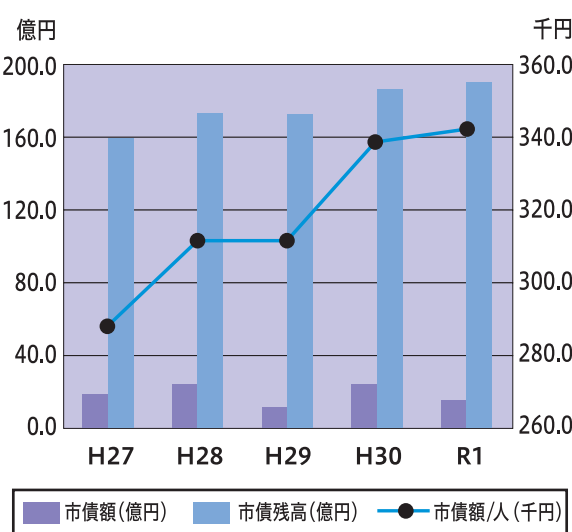
9月会議では、令和元年度決算の議案が提出され、歳入では収納率の状況等、歳出では各事業の効果や課題等を質し、認定しました。

1 市税及び構成比



●市税は、前年度比約1億円の増、その構成比27.6%も約2ポイントの増と良好
 ※市税は市民税や固定資産税等の主な自主財源です。

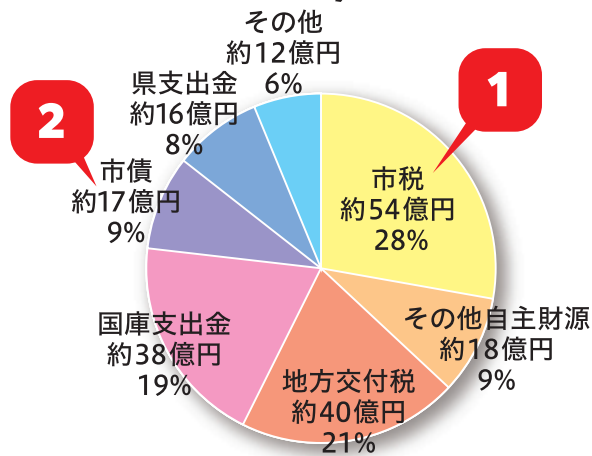
2 市債及び市債残高



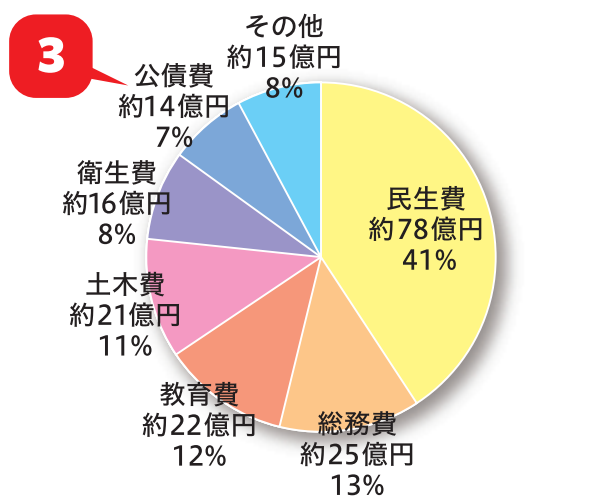
●市債(借金)は、前年度比約9億円の減
 ●市債残高(借金総額)は、過去最高の約188億円
 ●市民一人あたりの市債も過去最高の約34万円

【一般会計】

歳入195億3,731万円



歳出190億7,436万円



各種収支

- 歳入歳出決算収支: 4億6,295万円の黒字 前年度比2,595万円の増
- 実質単年度収支(基金への積立・取崩し分を調整後): 1億9千万円の黒字

3 ●公債費(借金返済への経費)は約14億円であり、2で示す市債の約17億円に対し、3億円少なく、依然として厳しい財政状況が続いています。

歳入

〔市民税個人分〕
 〔問〕 収納率低下、増収した要因は。
 〔答〕 調定額増による一時的な納税負担の発生、コロナによる収入減等により、収納率低下となり、収入等が増えたこと、雇用や所得環境の改善が要因です。

〔滞納繰越分の不納欠損の要因〕
 〔問〕 滞納繰越分の不納欠損の要因は。
 〔答〕 相続放棄や実態無しの即時消滅のためです。

〔固定資産税〕
 〔問〕 滞納繰越分の不納欠損増の要因は。
 〔答〕 1件の大きな財産処分によるものです。

〔収納率減の中、増となった要因〕
 〔問〕 371棟の新築と減価償却が要因です。
 〔地方消費税交付金〕
 〔問〕 前年度比大幅減の要因と事業への影響は。
 〔答〕 納付締切日の影響で年度を越えたためです。年度通してみれば予算よりも歳入が多かったため影響は出ませんでした。

〔地方交付税〕
 〔問〕 前年度比大幅増の要因は。
 〔答〕 主な要因は、下水道費・社会福祉費等の単位費用と国の交付税原資の増と考えられます。

〔児童運営費交付金〕
 〔問〕 前年度比大幅増となった要因は。
 〔答〕 保育費の無償化に伴う運営費が交付されたためです。

〔財産収入〕
 〔問〕 予算額より100万円増の要因は。
 〔答〕 主な要因は、イノベーションパーク内の現場事務所用地の貸付料です。

〔寄附金〕
 〔問〕 土地売却の調定額減の要因は。
 〔答〕 主な要因は、イノベーションパークでの販売予定の不調によるものです。

〔雑入〕
 〔問〕 広告掲載拡大を検討しているか。
 〔答〕 各項目の課題として基準の整備を検討します。

〔学校給食費〕
 〔問〕 滞納繰越収納率が低い要因は。
 〔答〕 半数以上が市外転居で今後、催告します。

〔収納率向上の成果〕
 〔問〕 コンビニでの支払方法等を採用した結果、8年間で滞納額は半額になりました。

歳出 - 産業建設分野 -

経済産業部、都市整備部、上下水道及び農業委員会に関する事務

重点 道路整備について

- ① 滝沢市私道等補助事業について

Q: 私道利用者に対する安全性の確保は。

A: 所有者、使用者が責任を負うことが基本と捉えています。

Q: 日常点検を目的としたパトロールを行っているのか。

A: 市の所管外ですが、災害発生時、日常点検時等で行っています。

Q: 私道整備事業補助金申請に係る書類作成の支援を行っているのか。

A: 書類作成、工事に係る助言と指導を相談に応じて行っています。
- ② 市道等維持管理事業について

Q: 優先順位を決定する時は、住民要望の頻度や人数を考慮しているのか。

A: 道路修繕管理台帳に記載すべき破損等に対する修繕計画では、評価の対象項目としてはいません。

Q: 修繕計画の策定時、住民要望に係る項目を評価基準の指標とする考えは。

A: 住民要望は緊急性の高い判定因子と考えているため、今後の指標として検討していきます。

Q: 道路修繕管理台帳に記載しない小規模の側溝改修等の実施数は。

A: 狹隘(きょうあい)道路箇所の幅員拡幅は行っていませんが、危険性の高い側溝自体の損傷に対する修繕は、125箇所実施しました。

Q: 日常点検を目的としたパトロールで、危険性を伴った狹隘道路を把握しているか。

A: 車両のすれ違いが困難な箇所を把握していますが、予算化措置が図れなかったため未対応です。

【審査の視点】

① 「私道等整備事業補助金交付要綱」に準拠した安全性確保の是非は。

② -1 「道路の修繕に関する基本方針」に準拠した日常点検の適正化は。

② -2 市内道路すべてに対する応急措置の適正化は。

【審査の評価】

① 私道の安全性確保に対する補助体制・方法が不明瞭であり、充実した具体的体制の構築が必要と考える。

② -1 日常点検で危険箇所を把握した時からは正すまでの工程において、判断基準や住民要望の度合い等を明確化する手法の構築が必要と考える。

② -2 道路修繕管理台帳に記載しない危険性の高い破損等に対し「見落とし」がないような体制、手法及び修繕対象道路等の見直しが必要と考える。



▲私道利用者に対する安全性確保の様子

重点 ふるさと納税の推進について

- ① ふるさと納税推進事業について

Q: 納税が目標値に達しなかった理由は。

A: ふるさと納税が広く周知されることで他の自治体に寄附が流れてしまったことが要因と考えられます。

Q: 仕入れ値や返礼品等の検討は。

A: 滝沢市観光協会と協議の上、決定しています。

Q: サイト開設を検討した結果は。

A: サイトを見直し、現在新たなサイト開設に向けて準備しています。
- ② 滝沢市特産品開発事業について

Q: ふるさと納税にもたらした効果は。

A: 特産品開発事業を活用した複数の商品が返礼品として選択されました。

Q: ネットショップによるふるさと納税への効果は。

A: 開発商品をネットショップに掲載することによって、売り上げが伸びて効果もあったと捉えています。
- ③ 観光振興事業について

Q: SNSを活用したPRの効果は。

A: アクセス数が100件以上あり、周知が図られ効果があったと思います。

Q: 地域おこし協力隊の成果と課題は。

A: 動画を制作し、滝沢市の魅力再発見に努めました。最終目標の移住・定住をめざします。
- ④ 滝沢市観光協会補助事業について

Q: 市内観光物産情報のPR効果は。

A: HPをより分かりやすくリニューアルし、観光産業の振興に努めました。

Q: 観光土産品開発の普及効果は。

A: プレミアムはるかの贈答用の木箱を作るなど、普及啓発を図りました。

【審査の視点】

① ふるさと納税減額の原因は。

② 特産品の開発や各団体との連携は十分か。

③ 地域おこし協力隊の活動による成果は。

④ 観光・特産品などのPRは十分か。

【審査の評価】

① ふるさと納税減額の原因には説明されなかった。

② 観光、特産品などのPRは、特産品の開発や各団体との連携を深めることによって効果を発揮すると思われる。

③ 地域おこし協力隊の活動がより活性化されることによって市の魅力再発見にも繋がり、更なる相乗効果を生むことを期待する。

④ PR効果は十分と思われるが、より効果的に進めるためには、市や関係団体とのより一層の連携が必要である。



総括

「財政構造改革」による元年度実績の評価と今後の財政基盤強化策は。

歳入は収納率の維持向上、財政調整基金の積み増し、4年連続単年度収支の黒字化の継続が成果です。税収の確保、補助金の活用にて安定的な財政運営を図ります。

「事業計画を立案、補助金等の財源確保に特化した専属課が必要では。

既存部署の役割を整理し、企画立案に集中できる体制をめざします。

「総合計画・地域別計画」の中心施策「地域の宝・地域力」の評価と課題は。

地域別には活発に活動しました。コロナ収束後、新たな観光資源の発掘を行います。地域力としては後継者問題などの人材不足問題があります。

「自転車通学の生徒の保険加入に関して、防災防犯課と教育委員会との連携は。

災害共済にて対応していますが、教育委員会として交通安全教室を通じて防災防犯課の推奨する損害賠償保険を勧めたいです。

「市町村の健康づくりへの取り組みを全庁的に進める事をめざし他分野との連携を見込んだ取り組みの方向性を整理しました」とあるが方向性の整理とは。

一部の課だけでなく全庁的に取り組むためプロジェクトと「ハコモノ系」に対する詳細設計と「ハコモノ系」に対する実施設計は、多数の共通点があるが情報共有は。

「福祉バス運行事業」「患者輸送車運行事業」「交通政策推進事務」の所管を都市政策課へ集約するなどの検討はなされたか。

「健康づくり」「若者定住」のから実施していきます。

「健康づくり」若者定住の取組は。

健康づくりは4つの施策を模索しました。若者定住は大学や専門学校とのつながりを進めSNSの活用等で情報収集をしています。

「新規就農対策事業」と「地域愛着向上事業やグリーンツーリズム推進事業との連携若者定住への展開は。

新規就農の17経営のうち10件は市内への転入となり、今後の連携も引き続き行います。

「インフラ系に対する詳細設計」と「ハコモノ系」に対する実施設計は、多数の共通点があるが情報共有は。

「中心都市構想づくり」をめざすところがあるが、実現に向けた課題は。

県を窓口として東北農政局にて「線引き」の調整を行っています。なお、道路着工は進めています。

「産業拠点の進展状況は。

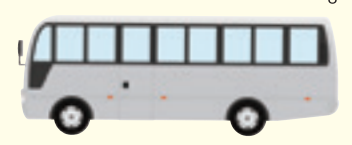
産業団地等の想定はしていませんが規制解除支援等を行い、本市の優位性を活かした企業誘致を行います。

「元年度事業実績報告書」の33事業に対する正誤表が提出された。以前から幾度となく指摘されていたが、今回のチェック体制は。

チェックなどの見直しは以前から行っていました。職員意識の欠如によるものと考えます。確認不備が要因のため、担当、課長だけではなく複数で対応します。

「監査委員に指摘されている不適切な事務処理の発生要因に対する措置と再発防止への指導は。

すべての部へ注意喚起し、関係部には是正と再発防止を指示しました。



歳出 - 総務教育分野 -

市民環境部(環境課を除く)、企画総務部、会計課、教育委員会、監査委員、選挙管理委員会事務及び固定資産評価審査委員会に関する事務と他の常任委員会の所管に属さない事務

重点 ビックルーフ滝沢の活用について

- ① つながりの場の充実について

Q: 無料スペースの拡充は。

A: コロナ対策で席を減らしましたが、今後状況を見て工夫ができないか指定管理者と相談します。

Q: 3時間単位の料金体系を、利用しやすくするための見直しは。

A: 周辺施設の利用形態を採用し、複数時間単位としていますが、今後、指定管理者と相談します。
- ② 図書館の蔵書購入について

Q: 蔵書購入は計画通りにできたのか、また、蔵書数は十分か。

A: 計画通り3千冊を購入しました。もうすぐ10万冊になることから目標達成に近づいています。

Q: 市民の要望への対応は。

A: アンケートなどの要望に応えています。

【審査の視点】

①-1 施設を利用した「つながりの場」の充実

①-2 利用しやすさ

②-1 蔵書の充実

②-2 ニーズ把握・対応

【審査の評価】

① つながりの場として無料スペースの利用環境は十分と言えないことからホワイエの活用等も考慮し、利用しやすい環境を検討する必要がある。

② 市民ニーズを把握し、蔵書を増やしていく努力が求められる。



重点 安全な登下校について

- ① 防犯灯について

Q: 老朽化した木柱の交換は。

A: 11本をコンクリート柱にしました。

Q: 防犯灯の必要性が高い、未設置の通学路への対応は。

A: 現地調査を行い、重要性があれば設置の検討が必要と捉えています。

Q: 添架の高さや明るさなど設置基準の見直しは。

A: 設置基準の見直しはしていませんが、照度の高いものなどで対応していきます。
- ② 自転車保険加入について

Q: 自転車通学の中学生に自転車保険加入義務化の対応は。

A: 交通安全教室の中で保険加入を啓発していますが、義務化は進めていません。

【審査の視点】

①-1 老朽化した柱の交換

①-2 通学路防犯灯の適切な設置

②-1 添架の高さや明るさの充実

②-2 自転車保険の加入促進

【審査の評価】

① 設置基準では満たされない箇所は現地調査を行い、環境に適切な配慮を進める必要がある。

② 自転車通学の、万が一の事故に備えての保険加入の義務化は重要であり、今後、担当課と教育委員会の連携を十分に図り、早急な協議が必要である。



重点 安心・安全な学校教育施設の整備について

- ① 小学校屋根・外壁等改修事業について

Q: 鶴岡小学校の改修工事終了後の計画は。

A: 同等の改修の予定はありません。

Q: 屋根や外壁の錆等の補修は。

A: 元年度は実施していませんが補助金の目処がつけば計画します。
- ② 小学校校便所改修事業について

Q: 29年に事業終了となっているが100%の洋式率に達しない理由は。

A: 和式トイレを望む学校もあり、100%になっていません。

Q: 校舎敷小中学校の簡易水洗を合併浄化槽にする必要は。

A: 21年度に完成した体育館内のトイレで対応しており、特に問題の無いことから合併浄化槽の導入の必要性は無いと捉えています。

【審査の視点】

①-1 教育環境整備の観点からの早急な維持補修の必要性

①-2 今後の補修計画

②-1 小学校校便所改修の充実

②-2 校舎敷小中学校の合併処理浄化槽移行の可能性

【審査の評価】

① 屋根や外壁の錆などの緊急性の高い補修にもかかわらず、財政の目処が立たないことから補助金類の事業運営が浮き彫りになった。今後も改修等に向け注視していく必要がある。

② 洋式率100%を望んでいたが、現状に合わせた対応をしていることから、便所改修事業はほぼ達成したとみられる。

重点 その他の重点事項

- 地域防災について

Q: 土砂災害を想定した避難訓練の実施は。

A: 元年度は「土砂災害に特化した防災訓練」を行う予定でしたが、台風で自衛隊が参加できず縮小して行いました。

Q: 現在は市内の「急傾斜地崩壊危険箇所」や「土石流危険箇所」があるため、想定した訓練を行います。
- 集会施設の整備について

Q: 自治体民館の老朽化対策は。

A: 管理団体の要望を受け、予算化していません。バリアフリーや耐震補強は補助対象ですが、耐震診断は対象外です。
- 学校と地域の連携について

Q: 地域愛着向上事業の成果は。

A: 学生や若者達と「タキザワコレカラ会議」を3回行い、元年には「タキザワ音楽祭」を復活させて継続しています。
- その他

Q: 滝沢ふるさと会の事業成果は。

A: 県立大学OB20名、若者だけの情報交換会を行い好評でした。

歳出 - 環境厚生分野 -

一般会計の市民環境部(環境課)と健康福祉部、特別会計の健康福祉部(国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、介護保険介護サービス事業)に関する事務

重点 ごみ処理の広域化について

- ① ごみ処理等広域化推進事業について

Q: 候補地の決定が遅れているが、いつまでに決定すれば、計画の11年度に稼働できるとの認識か。

A: 現時点では、ぎりぎり計画内での稼働が可能と考えています。

Q: 最終処分場の議論はされているものか。

A: 事務レベルでの議論はされているものの8市町の首長の判断を仰ぐまでの意見統一はされていない状況です。
- ② ごみの減量化について

Q: 目標値を達成出来なかった分析は。

A: 普通ごみの目標値を達成するため、起爆的な取り組みをすべきとの議論はされています。一方、資源化は進展していると考えています。5店舗(法人・スーパー等)と協定を結んでいます。

【審査の視点】

① 候補地決定が遅れている中、11年の目標年次に向け、協議会の一員としてどのような議論がされたのか。

② ごみ減量化行動計画が作成された後の目標達成は。

【審査の評価】

① 27年に準備委員会が設立されて5年経過したが、候補地の選定の遅れから、ごみ処理施設の型式や最終処分場の議論が進んでいない。

② 資源ごみの処理数は増えているが、普通ごみ減量化の目標には至っていない。

重点 子育て支援について

- ① 放課後児童健全育成事業について

Q: 待機児童の解消は。

A: 当初1名いましたが、途中で希望のクラブに入りました。

Q: 3年度に向けた課題は。

A: 大規模なクラブの環境改善が課題です。
- ② 保育施設待機児童の解消について

Q: 待機児童の解消は。

A: 35名から13名に減りましたが、解消にはいたっていません。

Q: 今後の方向性は。

A: 川前保育園の建替えにより定員10名の増となりますが、ゼロをめざし、さまざまな検討をします。

Q: 保育士確保の支援、家賃補助の成果は。

A: 目標人員15名に対し4名の実績であったが2年度は13名に増えています。

【審査の視点】

① ② 保育施設、放課後児童クラブの待機児童は解消されたか。

① 施設環境の充実は。

② 保育士の確保・支援の効果は。

【審査の評価】

① ② 放課後児童の待機が解消された点は評価されるが、保育の待機児童は依然として解消されていない。

① 大規模施設の環境改善が求められる。

② 保育士確保の施策である家賃補助はPR不足で効果は不十分であった。



重点 健康づくりについて

- ① 予防接種事業及び各種がん検診事業等について

Q: 各種がん検診の受診者数、受診率の正確な現状把握はされたか。

A: 若年層から高齢者までの健康意識の向上施策ができたか。

Q: 職場での健康診断等の情報が正確に把握されておらず、協会けんぽとの連携が継続課題である。

② 健康づくり政策課が組織化され、60歳未満の若い世代の健康づくり事業(健康ダンス作成、職場対抗等)に取り組み始めた中、健康ダンスの普及は、2年度以降に期待したい。
- ② 地域健康づくり事業について

Q: 若い世代の健康づくり事業の成果は。

A: 4事業に取り組んだ中、事業所対抗健康づくりでは、9事業所73名が参加。若い世代に効果があったと考えています。

【審査の視点】

① 各種がん検診の受診者数、受診率の正確な現状把握はされたか。

② 若年層から高齢者までの健康意識の向上施策ができたか。

【審査の評価】

① 職場での健康診断等の情報が正確に把握されておらず、協会けんぽとの連携が継続課題である。

② 健康づくり政策課が組織化され、60歳未満の若い世代の健康づくり事業(健康ダンス作成、職場対抗等)に取り組み始めた中、健康ダンスの普及は、2年度以降に期待したい。

重点 その他の重点事項

- 介護予防等について

Q: 福祉バスの利用者減と課題は。

A: 家族送迎の増や乗合い等通学方法が多様化しています。また、睡大学と一体の事業なので、新たな手段が確立されるまで継続すべき事業と考えます。

Q: 老人クラブ会員やクラブ数減少は。

A: 会員数が70人、クラブ数も2クラブ減少していると考えています。

Q: 安心生活相談の成果は。

A: 相談内容が多様化している中、弁護士、司法書士による法的な専門家相談により解決につなげています。

Q: 救急医療情報キット配布の普及は。

A: 普及率は75歳以上の独居世帯で52%です。今後さまざまな機会を捉えて、普及を図ります。
- その他

Q: 緊急通報装置設置事業の成果は。

A: 通報の件数は102件で、救急車要請に至った件数は3件です。

Q: 救急当番の現状は。

A: 医師会の努力で行っていますが、今後、負担の軽減や費用等の協議を進めます。

一般質問

《9月会議》

- 質問内容の紹介
- コロナ関係… 感染症対策、新しい生活様式への対応、検査体制の充実、教育環境（行事への参加、少人数の学級作り等）、避難所機能、支援策の周知方法の課題
 - 福祉… 認知症の方の見守りサービスの取り組み、地域包括支援センターの運営、国保税の引き下げ・子どもの均等割の減免
 - くらし… 橋梁長寿命化計画の効果、道路反射鏡の設置、県央ブロックごみ・尿処理広域化、火葬場の建設、施設別計画の明確化
 - 育児・教育… 子ども医療費の無料化、不登校生徒の対策
 - はたらく… 入札現状の課題と対策、労働人口の確保
 - 財政… 歳入と歳出の関連



奥津 一俊 議員

橋梁長寿命化計画で得られた効果は

維持管理費の抑制と健全性向上が図られました



問 橋梁長寿命化計画で得られた具体的な効果は

答 耳取橋では、早期措置段階の損傷箇所は事後保全型で、予防保全段階の損傷箇所は予防保全型で、それぞれ補修工事を実施しました。その結果、劣化進行要因の解消に伴う維持管理費の抑制と健全性向上が図られました。

問 個別施設計画を踏まえた具体的な施設計画の手順は

答 個別施設計画を基本とし、施設の状態と財源等を勘案しながら実施時期を見極め、具体的かつ詳細な検討を行い、その結果を踏まえた施設改修を実施します。

問 分散避難への対応性を考慮した「ハコモノ」の防災機能は

答 個別施設計画では各施設の避難所機能の評価を記載していませんが、今後の個別施設計画で適時、計画の見直しや反映等を検討します。

問 コロナ禍の今冬、市民が安心して持病の治療



滝沢市民クラブ 日向 裕子 議員

コロナ禍での小中学校現場の教職員の現状は

コロナ拡大防止のための業務が増えています



問 コロナ禍での小中学校現場の教職員の現状は

答 換気やマスク着用の指導、検温、消毒等新たな業務が増えています。研修会や行事の中止、縮小および実施方法の見直しをしています。また、スクールサポートスタッフの配置や大学生を事務補助に雇用し、業務の削減につなげています。

問 コロナ禍におけるICT活用は

答 環境整備を進め、効果的なオンライン授業の在り方を検討します。

問 持続可能な開発目標に基づくくまびよる生活の質の向上やスポーツによる健康づくりの推進は

答 「新しい生活様式」に沿った生涯学習・スポーツ活動が行われるよう努めます。

問 超スマート社会の今後の展開は

答 企業と大学、地域と連携・協働し、すべての人が活き活きと快適に暮らせる社会をめざします。



滝政会 井上 仁 議員

JV推進の支援は

市内事業者が構成員となる受注機会を創出します



問 企業育成策としてJV（共同企業体）を進める市内企業の支援は

答 工事に伴って結成される「特定JV」は対象事業に限られるため、発注機会を増やすのは困難です。今後、市内事業者がJV構成員になれる受注機会の創出に努めます。

問 入札方式の変更で地元企業が参加できる仕組みづくりへの考えは

答 現状の「指名競争入札」が市内業者の参加しやすい配慮と考えます。

問 入札方式を「一括JV」にする事業を増やす考えは

答 工事案件ごとに選択して実施します。

問 広報誌でのコロナ支援の周知方法は適正か

答 広い周知には適していますが、伝達に時間がかかる課題があります。

問 ホームページの構成内容は適正か

答 スマートフォン対応と共にSNS活用も含め早く正確に伝わるように取り組みます。



新志会 山谷 仁 議員

本市でコロナ感染者が確認された場合の対応は

県の要請に応じた協力対応をします



問 本市で、コロナ感染者が確認された場合の対応は

答 県が感染症法に基づき、指定医療機関への入院勧告、または措置をします。その際、本市は関係法令に規定されている行動計画に基づき、県からの要請に応じた協力対応を行います。

問 コロナ感染者と同居する高齢者、障がい者および子どもの一時的預かりを本市で行う用意は

答 高齢者に対しては、現行の介護保険制度の範囲内で具体的な事業に対応します。

問 コロナ感染者に対する県からの要請は

答 県が感染症法に基づき、指定医療機関への入院勧告、または措置をします。その際、本市は関係法令に規定されている行動計画に基づき、県からの要請に応じた協力対応を行います。

問 コロナ感染者と同居する高齢者、障がい者および子どもの一時的預かりを本市で行う用意は

答 高齢者に対しては、現行の介護保険制度の範囲内で具体的な事業に対応します。



日本共産党 川口 清之 議員

子どもの国保税均等割の減免は

全国市長会を通して国に要望しています



問 子どもの国民健康保険の均等割の減免は

答 本市は、全国市長会を通して、子どもに係る均等割保険料を軽減する支援制度の創設と財源の確保を国に対して要望しています。

問 若者定住に係る子育て支援は、本市の重点事業と考えるか

答 若者定住は、第1次滝沢市総合計画後期基本計画の展開戦略として位置付けています。子育て支援事業は、若者定住に有効な重点的施策のひとつとして考えています。

問 高校卒業までの医療費の窓口無料化は

答 現物給付による窓口無料化は県と市町村による協議を経て決定することから、今後とも協議していきます。

問 県央ブロックごみ・尿処理広域化推進協議会の2年3月以降の進捗状況は

答 協議会は、地域住民や関係者との合意形成に向けた住民説明会や見学会を予定していましたが、コロナ拡大防止の観点から開催できていません。

問 近隣に商店街が立地し、交通の要所である盛岡インターチェンジ付近がごみ焼却施設の候補地となった理由は

答 当該候補地は、懇談会や施設見学を通じて施設の整備に対する理解が進んでいますが、反対意見も確認されているため、今後も住民に対し丁寧な説明します。



会派に属さない議員 菅野 福雄 議員

特別定額給付金の給付率、未給付の件数は

給付率は99.75%、未給付件数は49件です



問 特別定額給付金の給付率、未給付の件数、情報弱者への対応は

答 特別定額給付金の給付率は99.75%、未給付件数は49件です。また、全世帯へ申請書を郵送し、未送達になった24件に対して個別訪問を行いました。

問 コロナで経済的に打撃を受けた学生のアルバイト採用は若者定住促進のチャンスだが、若者定住意識醸成の具体的な政策は

答 将来滝沢市役所で働きたい「地元が活性化しよう貢献したい」など、学生の思いや夢を事業終了後も応援し、定住人口につながる更なる取り組みを加速させます。

問 県内他自治体に比べて、市民一人当たりの財政調整基金残高が少ないことへの打開策は

答 コロナの影響による税収等の減少や感染症対策経費の増加等により、基金残高の増加を図ることは難しいと思われま



日本共産党 仲田 孝行 議員

新設予定の北部圏域センターへの期待は

緊急時の相談にも早急な対応が期待できます



問 地域包括支援センター運営の民間委託について、来春新設の北部圏域センターでのサービス向上の期待は

答 総合センターへの委託業務は、総合相談支援事業、権利擁護業務および包括的・継続的ケアマネジメント支援業務等ですが、より身近に、専門的に相談できる場所として活用し、高齢者の介護や医療等の緊急時の相談にも早急な対応が期待できます。

問 直営のセンターと北部圏域の新たなセンターとの関係性は

答 滝沢市地域包括支援センター運営方針との一体性を保ちながら業務を実施します。医師会等との連携では、直営型のセンターが後方支援を行い、安定的な運営をめざします。

問 現在、センターのプランニング機能果たしている施設が北部、中部、南部3圏域にあるが、優先的に委託先とする考えは

答 受託候補者の選定で



公明党 小田島 清美 議員

行政のIT化の強化は

注視しながら検討します



問 新しい生活様式等の対応における行政のIT化の強化は

答 今後の社会構造基盤を構築していく上で重要な役割を担うものと考えています。経済財政運営と改革の基本方針2020の方針でも主要施策と位置付けられていますので、今後の財源措置を含めた国の動向を注視しながら検討します。

問 高齢者等、3密を避けることができない職場の検査体制の充実

答 県として新たな検査体制が示されていないことや地域の医療機関において検体採取に係る課題があるため、新たな検査体制の構築は予定していません。

問 雲石町と共同、または単独の火葬場の建設は

答 火葬場利用の現状や市の財政状況から、市単独で整備することは困難です。火葬場の共同処理は考えていませんが、これからの火葬場の在り方を周辺市町と検討し、広域で連携していくことは必要と考えます。



滝政会 稲荷場 裕 議員

危険箇所道路反射鏡を優先的に設置する考えは

調査を行い必要性和条件が整えば検討します



問 自治会要望のない、危険性が高い箇所に対し、道路反射鏡（カーブミラー）を優先的に設置する考えは

答 道路の利用頻度が高い自治会関係者や地域の方々の意見を聞き、現地調査を行い、設置の必要性と条件が整えば設置を検討します。

問 今後の設置予定箇所と設置時期は

答 元年の実績は7基です。2年度の要望件数は自治会と個人から10件あり、現地調査の結果、設置の検討すべき場所は1箇所です。

問 本市の不登校対策として、民間団体やNPO法人等によるフリースクール設立や学校・家庭・地域・行政が一体となった支援の必要性は

答 不登校対策は、学校に登校できても教室に入ることが困難な生徒のために市内中学校3校に「あつたかハート支援員」の配置や、学校に登校することが困難な児童生徒のための適応指導教室（フレンド滝沢）を開校して支援しています。

問 フリースクール等の設立への支援は難しいですが、不登校の児童・生徒が学校以外でも自立の基礎を培うことができるように、学校と民間施設との連携が図られるよう努めます。

市政調査会議員研修会 一般質問勉強会 開催

【開催日】令和2年8月7日(金)
【場所】ビッグルーフ滝沢
【内容】

第1部 議会モニターによる意見・感想
第2部 市政調査会員と議会モニターによる意見交換会

当市議会では、日頃より「開かれた議会」「行動する議会」「市民とともに歩む議会」を目標に一般質問の資質向上に取り組んでいます。また、議会モニターさんより傍聴等を通して一般質問のご意見も多数いただいております。今回は議会モニターの太田晴輝氏（元議会事務局長）を招いて、一般質問の基本的なことと太田氏が傍聴した際の感想等をお聞きしました。会員（議員）からは専門的な質問が出され、活発な意見交換が行われました。

録音広報のご案内

「たきざわ市議会だより」の録音版CDを作成しております。貸し出しを希望される方は、議会事務局へご連絡ください。

議会報告会 「おでんせ会議」

コロナ禍で規模縮小して開催

例年、5月～6月に開催していましたが、今年度はコロナ禍により11月の開催となりました。また、3密を避けるため人数制限を設けることとし、参加者は自治会を代表する方々に限定しましたのでご了承願います。

内容は昨年度にいただいた地域課題への回答を含め、議会の現状等を報告する予定です。

【日時】令和2年11月29日(日) 午後1時30分～午後3時00分
【場所】滝沢ふるさと交流館
【内容】議会報告、意見交換

中間報告 議会ICT化検討チーム会議

議会改革推進会議では議会ICT化について、以下の効果を検証し、来年度からのタブレット端末導入を検討しています。

- 文書管理機能
 - ①いつでも、どこでも、大容量の情報が把握可能になる。
 - ②事務局が携わる資料管理業務が効率的に軽減化される。
 - ③書庫不要で、資料の整理・保管が簡単・明瞭化される。
- 会議機能
 - ①容易・迅速な視覚的情報で、会議が効率的になる。
 - ②非常時等のオンライン会議など議会活動の継続化が可能になる。
- 情報共有機能
 - ①議員間、議員と市民間との報告・連絡が迅速・的確になる。
 - ②資料や映像などの大容量の情報の共有がリアルタイムになる。
- ペーパーレス化によるコスト削減が図られる。
- 環境負荷の軽減が図られる。



議会モニター会議開催

▶8月21日(金)

8月31日までの任期の議会モニター(参加者5名)の皆さまに、これまでにいただいたご意見とその対応状況を説明し、議会モニター制度に対するご意見やご要望を伺いました。



市役所4階中会議室

▶9月25日(金)

新たに議会モニターとして11名の方に、委嘱状交付を行いました(任期:2年9月25日~4年3月31日)。自己紹介の後、議会の概要や議会モニター制度を説明しました。また、新しいアンケートについてもご質問、ご意見、ご要望を伺いました。



令和2年9月会議(9月2日~29日)議案11件・諮問2件・認定7件・請願2件・発議3件を審議

○全員賛成で議決した議案 案件名は省略しています。

議案第1号	2年度一般会計補正予算(第6号) 下記に主事業を記載……………311,821千円
○負担金、補助金等の過年度精算による予算補正……………85,849千円	
○小学校校舎等補修(滝沢第二小学校プール改修工事等)……………14,063千円	
○児童福祉施設維持管理(南菓子保育園公共有水道切替工事等)……………12,166千円	
○市道等維持管理(大石渡3号線側溝機能回復及び路面復旧工事)……………10,560千円	
○農業振興(多面的機能支払交付金※の増)……………9,225千円	
※農業を支える共用の設備を維持・管理するための交付金	
○中学校校舎等補修(滝沢中学校教室改修工事等)……………9,001千円	
○社会資本整備総合交付金内示額減による事業費の減……………△135,478千円	
(JR小岩井駅前広場工事・市道改修工事・菓子野沢線道路改良舗装工事・向新田線道路改良舗装工事)	
議案第2号	2年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)……………46,851千円
議案第3号	2年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)……………5,025千円
議案第4号	2年度介護保険特別会計補正予算(第2号)……………49,303千円
議案第5号	2年度介護保険介護サービス事業特別会計補正予算(第2号)……………180千円
議案第6号	2年度下水道事業特別会計補正予算(第1号)……………986千円
議案第7号	道路占用料徴収条例の一部改正
議案第8号	元年度畜産試験場柳沢線道路改良舗装その7工事……………156,791千円 請負変更契約の締結(11,710千円の増額)
議案第9号	元年度水道事業特別会計未処分利益剰余金の処分……………△320,847千円
議案第10号	元年度下水道事業特別会計未処分利益剰余金の処分……………△281,114千円
議案第11号	2年度一般会計補正予算(第7号)……………45,349千円
認定第1号	元年度一般会計歳入歳出決算の認定
認定第3号	元年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定
認定第5号	元年度介護保険介護サービス事業特別会計歳入歳出決算の認定
認定第6号	元年度水道事業会計決算の認定
認定第7号	元年度下水道事業会計決算の認定
発議第3号	コロナの影響に伴う地方財政悪化に対する財源確保を求める意見書

コロナ案件《補正予算(第7号)からPICK UP》

- サテライトオフィスICT利用環境整備……………66,247千円
(本市の業務機能の分散化で業務が継続できる環境づくり)
- 保育所等に対する包括的支援……………15,654千円
(43施設に対し、感染防止用品購入、職員手当や賃金等)
- IGRいわて銀河鉄道へ支援金給付……………8,672千円
(県・沿線市町協調支援金のうち、本市負担分)
- 本庁舎に感染拡大防止用品の配備……………4,260千円
(加湿空気清浄機、オゾンガス式除染装置等)
- 救急搬送時の感染拡大防止対策(広域消防組合負担金)……………2,563千円
(オゾンガス発生装置で各種資機材の殺菌・滅菌)
- 5施設にサーマルカメラの配備……………2,418千円
(ふるさと交流館、総合公園体育館の他3施設)
- 申告相談会場での密集回避対策……………1,541千円
(ビッグルーム会場り上げ料、パーティション購入)
- 修学旅行キャンセル料……………1,540千円
(姥屋敷小中学校を除く市内12校が対象)
- コロナ情報掲載による広報たきざわのページ数増加……………1,167千円
(6月15日号~3月号お知らせ版の16回分で合計362,980部)
- 中小企業者等経営支援事業の申請件数による調整……………△68,302千円
(想定申請件数に対し実績申請件数が少なかったこと)
- 飲食店等への補助事業の申請件数による調整……………△14,229千円
(想定申請件数に対し実績申請件数が少なかったこと)

8月8日 市民懇談会

《岩手西北医師会》

新型コロナウイルス感染症第2波のさなか、日々緊張感と危機感をもって対応されている『岩手西北医師会』と初めての市民懇談会を行いました!

今冬、インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の同時流行、低湿度に伴う感染症発生率の増大が懸念される状況下、今回は、市内の医療機関が閉院することなく、私たち市民が安心して持病の治療ができる対応方法はもちろんのこと、日ごろの医療活動の課題、市民の健康づくりに向けた取り組みなど、多くのご意見をいただきました。今後も継続的に、さまざまな情報と意見の交換を行い、議会活動に反映させていきます。

《要約》

活発な意見交換を行うため議会から、市内医療機関の駐車場に動線区分を目的とした簡易テントを設置、その中で新型コロナとインフルエンザの抗原定性検査(行政検査)を行う方法を提示しましたが、医療機関の人的資源や安全対策、検査技術の信頼性等から対応困難であるとの意見をいただきました。今後は、国や県の動向を踏まえ、更なる対応方法を模索する必要があると思います。また、休日当番医について、経済性や医療従事者の確保から諸課題が確認されているため、継続的な協議が必要との意見もいただきました。



岩手西北医師会(医師5名、事務局2名)



活発な意見交換が行われました!

市長へ 提言書を提出



岩手西北医師会と一体となって「かかりつけ医等に相談・受診できる体制の整備」「地域の医療機関での検査体制構築」に向けた取り組みを早急に進めるよう、10月5日(月)右の提言書を市長へ提出しました。

『市民が安心してかかりつけ医に受診できるため』の提言書

インフルエンザと新型コロナウイルス感染症との同時流行で医療現場が混乱することも予想される今冬、市民一人ひとりが、3密回避、手洗いの徹底などの一般的な感染症予防をしっかり行うことはもちろん、自分も新型コロナウイルスに感染しているかもしれないという意識を持ち、人にうつさない工夫、マスク着用、不要不急の外出自粛などを積極的に行うことが必須であると考えます。

一方、国においては、8月28日に「新型コロナウイルス感染症に関する今後の取組(対策パッケージ)」が示され、抗原検査やPCR検査等の検査体制の更なる強化、医療体制整備の再構築、保健所の即応体制の整備および治療薬・ワクチンの供給等に取り組んでいます。

さらに、本市においては、県と一体となって、「かかりつけ医等に相談・受診できる体制の整備」「地域の医療機関での検査体制構築」の具現化に不可欠な“感染症に正面から向き合う、かかりつけ医の意志”をできるだけ早期に醸成することが最重要課題であると考えます。

そのためには、今までの感染症対応に関して、適時に県や県医師会からの情報提供が受けられていない岩手西北医師会に対して、本市から目に見えた早期の積極的支援行動を示すべきです。

以上を踏まえ、別紙のとおり岩手西北医師会との速やかな協議とともに、適切な予算措置を図るよう提言します。

(別紙)

1. かかりつけ医等に相談・受診できる体制の整備
 - (1) 相談・受診できる市内医療機関を把握するため、“感染症に正面から向き合う、かかりつけ医の意志”の事前確認が必要です。
 - (2) かかりつけ医での受診体制において、N95マスクなどの防護具の在庫状況、今後の必要量に対する供給方法等の事前検討が必要ですよ。
 - (3) 受診に対し必要となる医療機関での動線区分方法、必要資器材及び人員配置計画等の事前検討が必要ですよ。

2. 地域の医療機関での検査体制構築
 - (1) 国の対策パッケージでは抗原の定性検査(簡易キット)を推奨しているが、医療機関の人員体制、偽陰性の確立が高いこと等により岩手西北医師会より対応困難であると評価されているため、事前協議、調整が必要です。
 - (2) あらゆる検査ニーズに対応できる環境整備を図るため、唾液によるPCR検査に対応できる民間の検査研究機関を模索するとともに検査能力、検査費用及び梱包方法等の事前情報収集や協力協定の締結が必要ですよ。

以上

常任委員会 所管事務調査紹介

滝沢市は、滝沢市総合計画後期基本計画の展開戦略として「健康づくり」「若者定住」を掲げています。滝沢市議会では、市への提言を行うため今回は「若者定住」を総務教育・環境厚生・産業建設の3つの常任委員会の共通テーマとして設定し、所管事務調査をしています。なお、共通テーマとは別に他の調査も実施している委員会もあります。

委員会	調査項目名称
総務教育常任委員会	○若者による課題掘り起こし及び魅力発見の取組について
環境厚生常任委員会	○若者定住に向けた子育て環境(保育)について
産業建設常任委員会	○若者定住のための生活基盤と産業基盤の整備について ○交通弱者のための移動手段の確保について

産業建設常任委員会報告

調査事項	大釜駅、菓子駅の駐車場の利便性向上について
調査理由及びその目的	大釜駅、菓子駅については、当初、駅の利用者の利便性を高めることを目的として、パーク＆ライド方式の駐車場を設置しており、現在はその目的を十分に果たしていると思われている。一方、常に満車状態にあるなど課題も見受けられ、その要因及び解消方法を調査し、駅の更なる利便性の向上に向けた今後の在り方について研究を行う。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ●両駅駐車場においてパーク＆ライドの目的以外と思われる利用車両が多くあり、慢性的な満車状態の要因の1つと考えられる。 ●現状のまま運営すると長年に亘り不正利用対策費や維持管理費が掛かり続け、現状の満車状態や不正利用解消の課題解決は難しい。 ●駐車スペース増設の計画案の他、時間貸しや月極等による運営も考慮し、工事費や5年・10年先の維持管理費も含めた試算のシミュレーションを行った。現状と試算の収支を比較した結果、一定の初期投資費用は要するが、歳入増加と共に長期的な維持管理コストの抑制になる事が期待される。 ●現状のパーク＆ライド目的とそれ以外の利用も想定した維持管理運営には、公平性を考慮し、受益者負担を検討する必要がある。



○賛否が分かれた議案 案件名は省略しています。

Table with columns for item number, description, and 20 council members' votes (賛成/反対). Includes a '結果' (Result) section with '賛成' (赞成) and '反対' (反対) counts.

○討論 案件名は省略しています。

Discussion details for '認定第2号' and '認定第4号'. Includes '【反対】' (Opposition) and '【賛成】' (Support) sections with names of council members and their arguments.

Table for '人事' (Personnel) showing '諮問第1号' and '諮問第2号' with names like '牛抱 政行氏' and '堰合 輝美氏'.

○請願

Table for '請願' (Petitions) with columns for '件名' (Subject), '請願の趣旨' (Purpose), '請願者' (Petitioner), and '結果' (Result).

○討論

Discussion details for '請願第1号' (Petition No. 1) regarding consumption tax. Includes '【反対】' (Opposition) and '【賛成】' (Support) sections.

Section for '12~1月の予定' (December to January Schedule) with a table of dates and events like '議会運営委員会' and '1月会議'.

Section for '滝沢市議会ホームページ' (Takizawa City Council Home Page) with a QR code and text about mobile access.

Section for '9月会議の傍聴者' (9th Meeting Observers) showing '64名 (前年9月58名)' and featuring a mascot character.